

資料

臨床心理専門家養成のための医療実習に関する 全国大学病院における実態調査

松井三枝

1. はじめに

医療の分野における心理職のニーズは昨今ますます大きくなってきているといえるが、そのためのコアとなる教育が実際には各大学でどこまでなされているかが必ずしも明らかとはいえない。2008年に日本学会の健康・医療と心理学分科会は、医療領域に従事する国家資格法制の確立の提言を行ない、これ以降の討論の中で、現状の問題として、教育カリキュラムの確立が課題とされた。とくに、大きな点は臨床実習を含めたカリキュラムの確立にあるといえる。伝統的には以前から精神科領域では、経験的に、心理職の重要性は認識されてきており、国家資格ではないまでも、何らかの職名で心理の専門家が入り込んでいることが多いと考えられる。昨今は精神科領域のみならず、小児科、神経内科、心療内科、脳神経外科、リハビリテーション科など様々な医療領域でもニーズがあると思われるが、必ずしも心理職が定着しているわけではない。したがって、精神科領域での現況をまず知ることが大変参考になると思われる。さらに、大学病院は教育の場でもあり、他職種（医師、看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士など）における状況を鑑みると、大学病院における医療実習がなされることが多いので、心理職においてもまずは大学病院での実習が望ましいように思われる。本研究では、臨床心理専門家養成のための医療実習の実態を明らかにすることを目的として、全国の大学病院にアンケート調査を行なったので、その結果を報告し、大学院における専門家教育のためのカリキュラムの充実に向けての資料を提供したいと考える。

2. 方法

平成 23 年 2 月に全国の大学病院のある精神医学の講座の長にアンケートを郵送で依頼し、調査を行った（アンケート項目は付加資料参照）。なお、アンケートは 2 月のはじめに送付し、2 月末までを回答期限とした。調査内容は、「臨床心理専門家の実習状況」、「心理アセスメント」、「面接（診断面接、治療面接）」、「グループアプローチ（心理治療）」に大別された。

3. 結果

79 大学病院のうち 42 病院（53.2%；国公立 28、私立 11、不明 3）から回答が得られた。そのうち 31 病院が実習を受け入れたことがあった（全体の 39.2%、回答のうちの 73.8%）。表 1～表 7 は実習状

況についての結果を示す。

表 1 実習状況について 1

②	年間、平均するとどのくらいの実習生を受け入れていますか。		
1 人	5	(15.6)
2 人	7	(21.9)
3 人	4	(12.5)
4 人	3	(9.4)
5 人以上	13	(40.6)

実習を受け入れた 31 病院のうち、1 病院は 2 種類の受け入れパターンについてそれぞれ回答したため、実習受け入れしている延べ 32 病院に占める割合をカッコ内(%)に示す(これ以降の質問項目についても同じ)

表 2 実習状況について 2

③	実習はどのくらいの期間行われますか。		
1 日	0	(.0)
~1 週間	2	(6.3)
~1 ヶ月	3	(9.4)
~3 ヶ月	6	(18.8)
~6 ヶ月	6	(18.8)
~1 年	12	(37.5)
1 年以上	6	(18.8)

カッコ内は割合(%)

ただし、複数回答した病院があるため、割合の合計は 100 を超える。

表 3 実習状況について 3

④	実習生はその期間中、どのくらいの頻度で実習に参加しますか。	
毎日	2	(6.3)
4～6日/週	4	(12.5)
2～3日/週	7	(21.9)
1日/週	21	(65.6)
2～3日/月	0	(.0)
1日以下/月	0	(.0)

カッコ内は割合(%)

ただし、複数回答した病院があるため、割合の合計は100を超える。

表 4 実習状況について 4

⑤	実習生はどのような人ですか。	
臨床心理士	11	(34.4)
心理系大学院の修了者	8	(25.0)
現役の大学院生	22	(68.8)
現役の大学生	2	(6.3)
その他	2	(6.3)

その他〔言語聴覚士、医学部生、作業療法学科生〕

カッコ内は割合(%); ただし、複数回答が可能な質問につき、割合の合計は100を超える。

表 5 実習状況について 5

⑥	受け入れた実習生は自大学の出身者や学生ですか。他大学の出身者や学生ですか。	
自大学の出身・学生	6	(18.8)
他大学の出身・学生	19	(59.4)
自大学、他大学の両方	7	(21.9)

カッコ内は割合(%)

表 6 実習状況について 6

⑦	どのようなシステムで実習生を受け入れていますか。	
自大学での学部内・学部間提携	11	(34.4)
他大学との学校間提携	8	(25.0)
自大学・その教員個別的要請	5	(15.6)
他大学・その教員個別的要請	11	(34.4)
実習生からの個別的要請	6	(18.8)
病院側からの募集	4	(12.5)
その他	1	(3.1)

その他[大学(自大学)との部署提携による受け入れ]

カッコ内は割合(%); ただし、複数回答可能な質問につき、割合の合計は 100 を超える。

表 7 実習状況について 7

⑧	病院内ではどなたがスーパーバイズにあたりますか。	
医師	16	(50.0)
心理士	29	(90.6)
スーパーバイズしていない	1	(3.1)
その他	1	(3.1)

その他[その分野の担当]

カッコ内は割合(%); ただし、複数回答が可能な質問につき、割合の合計は 100 を超える。

心理アセスメントについて実習を受け入れたことのある 31 病院 (1 病院は 2 種類の受け入れパターンを回答したため延べ 32 とした) のうち 20 病院 (受け入れ病院のうちの 62.5%) が実施していると回答していた。表 8~表 15 は心理アセスメントについての結果を示す。知能検査・性格検査の各代表的検査などについて、WAIS 知能検査は 19 病院、WISC は 13 病院、ロールシャッハテストは 14 病院、MMPI は 12 病院等で、実習の仕方では各検査の施行までおこなう病院は 2~10 病院で、説明のみや検査の見学のみといった病院も散見した。スーパーバイザーは大部分が心理士で、採点指導、報告書の書き方の指導を行っている頻度がわかった。検査のフィードバックについての指導はほとんどなされていなかった。また、患者/クライアントに合わせた検査の選択、バッテリーについてどの程度扱うかについては、「扱わない」が 10% (2 件)、「説明するのみ」は 85% (17 件)、「実習生が検査を選択し、バッテリーを構成するよう指導」は皆無であった。

表 8 心理アセスメントについて「実習でこれら検査を扱いますか」

	はい			いいえ		
	/43	/32	/20	/43	/32	/20
ウェクスラー式児童用知能検査	13 (30.2)	(40.6)	(65.0)	7 (16.3)	(21.9)	(35.0)
ウェクスラー式成人用知能検査	19 (44.2)	(59.4)	(95.0)	1 (2.3)	(3.1)	(5.0)
ビネー式知能検査	9 (20.9)	(28.1)	(45.0)	11 (25.6)	(34.4)	(55.0)
ロールシャッハ・テスト	14 (32.6)	(43.8)	(70.0)	6 (14.0)	(18.8)	(30.0)
ミネソタ多面人格目録	12 (27.9)	(37.5)	(60.0)	8 (18.6)	(25.0)	(40.0)
クレペリン検査	7 (16.3)	(21.9)	(35.0)	13 (30.2)	(40.6)	(65.0)
神経心理検査	15 (34.9)	(46.9)	(75.0)	5 (11.6)	(15.6)	(25.0)
その他の検査	11 (25.6)	(34.4)	(55.0)	9 (20.9)	(28.1)	(45.0)

43=アンケート回収数(ひとつの大学2パターン含む延べ数)

32=実習受け入れ病院数(延べ); 20=アセスメント実習のある病院数(延べ)

()は%

面接(診断面接ないしは治療面接)実習は23病院がおこなっていると回答した。そのうち診断面接は16病院が、治療面接は16病院で扱うと回答した。表16~表20は面接実習に関する回答結果を示す。

表 16 面接について「実習で面接を扱いますか」

	はい		いいえ	
	/43	/32	/43	/32
診断面接	16 (37.2)	(50.0)	7 (16.3)	(21.9)
治療面接	16 (37.2)	(50.0)	7 (16.3)	(21.9)

43=アンケート回収数(A大学2パターン含む延べ数)

32=実習受け入れ病院数(延べ); ()は%

グループアプローチの実施は実習を受け入れている32病院のうちの16病院(50%)であった。表21~表27にグループアプローチについて回答結果を示す。SST、心理教育への参加が7~8病院と多い方であった。対象疾患はうつ病、統合失調症が8~9病院で多かった。

表 21 グループアプローチについて 1

11a-1	実習生はグループアプローチをどのように学んでいますか。	
技法の説明のみ	2	(12.5)
実施のビデオ視聴	0	(.0)
実施の見学	2	(12.5)
一部に参加	6	(37.5)
全体に関与	6	(37.5)

カッコ内は実習でグループアプローチを扱う延べ 16 病院に占める割合(%)

表 22 グループアプローチについて 2

11a-2	どのような技法のグループアプローチに参加しますか。	
SST	8	(66.7)
心理教育	7	(58.3)
グループ・サイコセラピー	2	(16.7)
サイコドラマ	0	(.0)
エンカウンター・グループ	1	(8.3)
その他	2	(16.7)

その他〔音楽療法、精神科デイケア、病棟のレクリエーション、集団行動認知療法〕

カッコ内は実習でグループアプローチに参加する延べ 12 病院に占める割合(%)。

ただし、複数回答が可能な項目のために割合の合計は 100%を超える。

表 23 グループアプローチについて 3

11a-3	どのようなグループを対象にしていますか。	
健常者	0	(.0)
ひきこもり	1	(8.3)
発達障害	3	(25.0)
アルコール依存	0	(.0)
うつ病	9	(75.0)
統合失調症	8	(66.7)
認知症	0	(.0)
その他精神疾患	2	(16.7)
精神疾患以外の患者	0	(.0)
患者の家族・関係者	4	(33.3)
その他	1	(8.3)

その他精神疾患〔不安障害、双曲性障害〕

患者の家族・関係者〔病名：統合失調症、摂食障害〕

その他〔休職者のリワークデイケアにおける CBGT グループ〕

カッコ内は実習でグループアプローチに参加する延べ 12 病院に占める割合(%)。

ただし、複数回答が可能な項目のために割合の合計は 100%を超える。

表 24 グループアプローチについて 4

11a-4	健常者を対象にしたグループアプローチは、実習生 1 人あたり何回ほど関与しますか。	
0 回	10	(83.3)
1 回	0	(.0)
～5 回	2	(16.7)
～10 回	0	(.0)
11 回以上	0	(.0)

カッコ内は実習でグループアプローチに参加する延べ 12 病院に占める割合(%)

表 25 グループアプローチについて 5

11a-5	患者／クライアントを対象にしたグループアプローチは、実習生 1 人あたり何回ほど関与しますか。
0 回	0 (.0)
1 回	0 (.0)
～5 回	6 (50.0)
～10 回	1 (8.3)
11 回以上	6 (50.0)

カッコ内は実習でグループアプローチに参加する延べ 12 病院に占める割合(%)。

表 26 グループアプローチについて 6

11a-6	病院ではグループアプローチの関与において、誰がスーパーバイズをおこないますか。
医師	9 (75.0)
心理士	12 (100.0)
病院側のスーパーバイズなし	0 (.0)
その他	3 (25.0)

カッコ内は実習でグループアプローチに参加する延べ 12 病院に占める割合(%)。

ただし、複数回答が可能な項目のために割合の合計は 100%を超える。

表 27 グループアプローチについて 7

11a-7	患者／クライアントを対象にしたグループアプローチは、実習生 1 人あたり何回ほど関与しますか。
医師	1 (8.3)
心理士	3 (25.0)
病院側の指導なし	0 (.0)
実習生の報告書作成なし	9 (75.0)
その他	0 (.0)

カッコ内は実習でグループアプローチに参加する延べ 12 病院に占める割合(%)。

ただし、複数回答が可能な項目のために割合の合計は 100%を超える。

4. 考察

本調査から 79 大学病院のうち、31 病院 (39.2%) がいずれかのかたちで、臨床心理専門家養成のための何らかの医療実習を行なっていることが明らかになった。ただし、実習状況は各大学病院によってかなり異なっていることも分かった。たとえば、実習期間については、1 週間より短いところから 1 年以上というところまでさまざまであった。実習の内容について、心理アセスメントに関しては、全体として、いずれの検査も実習で取り上げている病院は 20 病院まで至っておらず、実際の医療現場におけるニーズとの開きがあることがうかがえた。また扱う検査についても大学間で開きがあり、検査の施行体験実習を行なっている病院はかなり限定されていた。実際にはアセスメントの施行のみならず、報告書の作成やフィードバック法などさまざまな事項まで扱っている病院は、かなり少数であった。面接における実習は、さらに多くはないが、専門家の面接場面に陪席するという形式を取っている形態が主であった。グループアプローチについても数は多くはないが、いくつかの病院で何らかの形で参加する形式の実習を行なっていた。

アンケートの最後のコメントで様々な意見が寄せられ大変参考になる意見が多かった。それらの意見も絡み合わせると、何をどこまで学ぶことを目標にするかの医療実習におけるカリキュラムの整備が必要である。我が国の現状ではほとんどの臨床心理系の大学院は教育学部や文学部系列内にあるため、大学附属病院および医学部との連携をいかにするかの問題もある。自大学での学部内・学部間提携を実際に行なっている大学は 11 校あった。医学部や大学附属病院をもたない大学ではどうするかの問題もあるが、他大学との学校間提携をしている大学が 8 校あったので、可能性もあることがうかがえた。医療実習になると、実際の忙しい現場においては、医師には大変負担となる可能性があり、実習を受け入れるための教育スタッフの確保が重要となる。実際は大学病院ないし医学部における臨床心理学の指導者が関与し、実際的に専門的な指導を行なうことが望ましいと思われる。心理の医療実習を積極的に受け入れ、かなり熱心に行なっている大学病院が数病院あることがうかがえたが、これらの病院では、心理の指導者が配置され、医師の理解も大きく、独自の研修システムをつくっているようである。なかには、神経心理学的理解を深めるための脳のきりだしの見学や、ECT の見学、教授回診の見学、デイケア見学などさまざまな実習を取り入れている大学もあった。概して、このような高いニーズの医療実習を行うには、多様な専門家ないし他職種の協力は不可欠であり、そのための環境整備は必要であろう。今回の調査を参考にして、臨床心理専門家の医療実習のあり方を今後さらに煮詰めてゆく必要があると思われる。

謝辞

本報告は平成 22 年度学長裁量経費により実施された調査の一部である。本研究の手伝いをしていただいた長崎真梨恵さんおよび福田晋平君に深謝いたします。

参考文献

松井三枝 (2012) 臨床心理専門家養成のための医療実習に関する実態調査—全国臨床心理士指定校におけるシラバスより—. 富山大学杉谷キャンパス一般教育研究紀要, **40**, 111-114.

松井三枝

富山大学大学院医学薬学研究部 (医学) 心理学教室

表9 心理アセスメントについて「実習での扱い方」

	検査の説明のみ		検査のビデオ視聴		検査に出席		検査の一部施行		検査の全体施行										
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20							
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)							
ウェクスラー式児童用知能検査	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(0.0)	(0.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)
ウェクスラー式成人用知能検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0.0)	(0.0)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	10	(23.3)	(31.3)	(50.0)
ビネー式知能検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0.0)	(0.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)
ロールシャッハテスト	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)
ミネソタ多面人格目録	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0.0)	(0.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)
クレペリン検査	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(0.0)	(0.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)
神経心理検査	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(0.0)	(0.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	7	(16.3)	(21.9)	(35.0)
その他の検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0.0)	(0.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(0.0)	(0.0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	

43=アンケート回収数(A大学2パターを含む延べ数); 32=実習受け入れ病院数(延べ); 20=アセスメント実習のある病院数(延べ); ()は%

表10 心理アセスメントについて「健常者に対して実習生1人あたりに実施した回数」

	0回			1回			~5回			~10回			11回以上					
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20			
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)			
ウェクスラー式児童用知能検査	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
ウェクスラー式成人用知能検査	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	0	(0.0)	(0.0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
ビネー式知能検査	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
ロールシャッハテスト	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	0	(0.0)	(0.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
ミネソタ多面人格目録	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
クレペリン検査	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0.0)	(0.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
神経心理検査	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
その他の検査	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0.0)	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)

表 11 心理アセスメントについて「患者/クライアントに対して実習生 1 人あたりに実施した回数」

	0 回			1 回			~5 回			~10 回			11 回以上					
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20			
ウェクスラー式児童用知能検査	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)
ウェクスラー式成人用知能検査	0	(0)	(0)	2	(4.7)	(6.3)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)
ビネー式知能検査	1	(2.3)	(3.1)	2	(4.7)	(6.3)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0)	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)
ロールシャッハ・テスト	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0)	(0)	(0)
ミネソタ多面人格目録	1	(2.3)	(3.1)	0	(0)	(0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0)	(0)	(0)
クレペリン検査	0	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(0)	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)
神経心理検査	1	(2.3)	(3.1)	2	(4.7)	(6.3)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	0	(0)	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)
その他の検査	0	(0)	(0)	2	(4.7)	(6.3)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)

表 12 心理アセスメントについて「スーパーバイズ」

	医師			心理士			病院側の スーパーバイズなし			その他		
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20
ウェクスラー式児童用知能検査	0	(0)	(0)	7	(16.3)	(21.9)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
ウェクスラー式成人用知能検査	1	(2.3)	(3.1)	11	(25.6)	(34.4)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
ビネー式知能検査	1	(2.3)	(3.1)	6	(14.0)	(18.8)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
ロールシャッハ・テスト	1	(2.3)	(3.1)	5	(11.6)	(15.6)	1	(2.3)	(3.1)	0	(0)	(0)
ミネソタ多面人格目録	1	(2.3)	(3.1)	8	(18.6)	(25.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
クレペリン検査	1	(2.3)	(3.1)	3	(7.0)	(9.4)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
神経心理検査	0	(0)	(0)	8	(18.6)	(25.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
その他の検査	0	(0)	(0)	5	(11.6)	(15.6)	1	(2.3)	(3.1)	0	(0)	(0)

表 13 心理アセスメントについて「採点指導」

	医師		心理士		病院側の 指導なし		実習生は 採点しない		その他								
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20					
ウエクスラー式児童用知能検査	0	(0)	(0)	7	(16.3)	(21.9)	(35.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)			
ウエクスラー式成人用知能検査	1	(2.3)	(3.1)	11	(25.6)	(34.4)	(55.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)			
ビネー式知能検査	1	(2.3)	(3.1)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)			
ロールシャハ・テスト	1	(2.3)	(3.1)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	1	(2.3)	(3.1)	5	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)
ミネソタ多面人格目録	1	(2.3)	(3.1)	8	(18.6)	(25.0)	(40.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)
クレペリン検査	1	(2.3)	(3.1)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)
神経心理検査	0	(0)	(0)	8	(18.6)	(25.0)	(40.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)
その他の検査	0	(0)	(0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	1	(2.3)	(3.1)	5	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)

表 14 心理アセスメントについて「報告書指導」

	医師		心理士		病院側の 指導なし		実習生は 報告書作成しない		その他												
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20									
ウエクスラー式児童用知能検査	1	(2.3)	(3.1)	7	(16.3)	(21.9)	(35.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)							
ウエクスラー式成人用知能検査	1	(2.3)	(3.1)	10	(23.3)	(31.3)	(50.0)	0	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0)	(0)				
ビネー式知能検査	1	(2.3)	(3.1)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	(0)				
ロールシャハ・テスト	2	(4.7)	(6.3)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)	0	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)		
ミネソタ多面人格目録	1	(2.3)	(3.1)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	1	(2.3)	(3.1)	5	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)
クレペリン検査	1	(2.3)	(3.1)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	1	(2.3)	(3.1)	5	(0)	(0)	0	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)		
神経心理検査	0	(0)	(0)	7	(16.3)	(21.9)	(35.0)	0	(0)	(0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)			
その他の検査	0	(0)	(0)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	0	(0)	(0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(0)	(0)	(0)			

表 15 心理アセスメントについて「フィードバック指導」

	医師			心理士			病院側の 指導なし			実習生は フィードバックしない			その他						
	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20	/43	/32	/20				
ウェクスラー式児童用知能検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(.0)	(.0)
ウェクスラー式成人用知能検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	6	(14.0)	(18.8)	(30.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	0	(.0)	(.0)
ビネー式知能検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(.0)	(.0)
ロールシャッハテスト	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(.0)	(.0)	(.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	0	(.0)	(.0)
ミネソタ多面人格目録	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	1	(2.3)	(3.1)
クレペリン検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(.0)	(.0)	(.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	0	(.0)	(.0)
神経心理検査	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	5	(11.6)	(15.6)	(25.0)	0	(.0)	(.0)	(.0)	4	(9.3)	(12.5)	(20.0)	0	(.0)	(.0)
その他の検査	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	2	(4.7)	(6.3)	(10.0)	1	(2.3)	(3.1)	(5.0)	3	(7.0)	(9.4)	(15.0)	0	(.0)	(.0)

注) 表 9-表 15 で 43=アンケート回収数(A 大学 2 パターン含む延べ数) ; 32=実習受け入れ病院数(延べ) ; 20=アセスメント実習のある病院数(延べ) ; ()は%

表 17 面接について「実習での扱い方」

	面接のみ			面接の ビデオ視聴			1 ケース			~5 ケース			~10 ケース			11 ケース以上							
	/43	/32	/16	/43	/32	/16	/43	/32	/16	/43	/32	/16	/43	/32	/16	/43	/32	/16					
診断面接	1	(2.3)	(3.1)	(6.3)	0	(.0)	(.0)	2	(4.7)	(6.3)	(12.5)	5	(11.6)	(15.6)	(31.3)	1	(2.3)	(3.1)	(6.3)	7	(16.3)	(21.9)	(43.8)
治療面接	4	(9.3)	(12.5)	(25.0)	0	(.0)	(.0)	2	(4.7)	(6.3)	(12.5)	8	(18.6)	(25.0)	(50.0)	0	(.0)	(.0)	2	(4.7)	(6.3)	(12.5)	

43=アンケート回収数(A 大学 2 パターン含む延べ数) ; 32=実習受け入れ病院数(延べ) ; 16=面接実習のある病院数(延べ) ; ()は%

表 18 面接について「面接の担当ケース数」

	0 ケース (担当しない)		1 ケース		～5 ケース		～10 ケース		11 ケース以上	
	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16
診断面接	7	(16.3) (21.9) (43.8)	1	(2.3) (3.1) (6.3)	5	(11.6) (15.6) (31.3)	2	(4.7) (6.3) (12.5)	0	(.0) (.0) (.0)
治療面接	2	(4.7) (6.3) (12.5)	0	(.0) (.0) (.0)	8	(18.6) (25.0) (50.0)	2	(4.7) (6.3) (12.5)	0	(.0) (.0) (.0)

表 19 面接について「スーパーバイズ」

	医師		心理士		病院側の スーパーバイズなし		その他	
	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16
診断面接	4	(9.3) (12.5) (25.0)	3	(7.0) (9.4) (18.8)	0	(.0) (.0) (.0)	0	(.0) (.0) (.0)
治療面接	5	(11.6) (15.6) (31.3)	0	(.0) (.0) (.0)	0	(.0) (.0) (.0)	0	(.0) (.0) (.0)

表 20 面接について「報告書作成」

	医師		心理士		病院側の 指導なし		実習生は 報告書作成しない		その他	
	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16	/43	/32 /16
診断面接	3	(7.0) (9.4) (18.8)	2	(4.7) (6.3) (12.5)	0	(.0) (.0) (.0)	1	(2.3) (3.1) (6.3)	0	(.0) (.0) (.0)
治療面接	5	(11.6) (15.6) (31.3)	4	(9.3) (12.5) (25.0)	0	(.0) (.0) (.0)	0	(.0) (.0) (.0)	0	(.0) (.0) (.0)

注) 表 17～表 20 で 43=アンケート回収数(A 大学 2 パターン含む延べ数) ; 32=実習受け入れ病院数(延べ) ; 16=面接実習のある病院数(延べ) ; ()は%

付加資料 アンケート調査用紙

本邦における臨床心理専門家養成のための 医療実習に関する調査

本調査は、日本の臨床心理専門家養成における医療実習の実態を明らかにすることを目的としています。われわれは病院での医療に関連した実習の実情を知ることが、今後の臨床心理系大学院教育および卒後教育のシステムを考える上で重要なことと考えております。

つきましては、貴大学病院での臨床心理専門家養成のための臨床実習の状況をお聞かせいただければ幸いです。ご多忙中かとは存じますが、何卒、本調査の趣旨をご理解いただき2月28日（必着）までにご回答いただけますようよろしくお願い申し上げます。

日本学術会議 健康・医療と心理学分科会委員
富山大学大学院 医学薬学研究部准教授 松井 三枝

臨床心理専門家の実習状況について …p.1
・実習のシステムや実習生に関する事項
心理アセスメントについて …p.3
・ウェクスラー式児童用知能検査 (p.4) ・クレペリン検査(p.14) ・ウェクスラー式成人用知能検査 (p.6) ・神経心理検査(p.16) ・ビネー式知能検査(p.8) ・その他の検査(p.18) ・ロールシャッハ・テスト(p.10) ・検査の選択法・検査バッテリー (p.20) ・ミネソタ多面人格目録 (p.12)
面接について …p.22
・診断面接 (p.23) / 治療面接(p.24)
グループアプローチについて …p.25
・グループアプローチの実習に関する事項
その他の取り組みについて …p.27
・病院での実習の取り組みについて自由にご記述いただけます

★所属病院名をご記入ください []

それぞれの質問の回答として適当な数字を○で囲んでください。

- ① 貴病院では臨床心理専門家（臨床心理士以外も含む）の実習を受け入れたことがありますか。

- 1 ある → 以降の質問もご回答をお願いします。
2 ない → 質問⑬（27 ページ）へお進みください。

これ以降、貴病院が最近行っている臨床心理専門家のための実習として典型的なものを回答ください。

- ② 年間、平均するとどのくらいの実習生を受け入れていますか。

- 1 1人
2 2人
3 3人
4 4人
5 5人以上

- ③ 実習はどのくらいの期間行われますか。

- 1 1日
2 ～1週間
3 ～1カ月
4 ～3カ月
5 ～6カ月
6 ～1年
7 1年以上

- ④ 実習生はその期間中、どのくらいの頻度で実習に参加しますか。

- 1 毎日
2 週4～6日
3 週2～3日
4 週1日
5 1カ月に2～3日
6 1カ月に1日以下

⑤ 実習生はどのような人ですか。

※複数回答可

- 1 臨床心理士
- 2 心理系大学院の修了者（臨床心理士の資格を保有しない）
- 3 現役の大学院生（臨床心理士の資格を保有しない）
- 4 現役の大学生
- 5 その他 []

⑥ 受け入れた実習生は自大学の出身者や学生ですか。

- 1 自大学の出身・学生
- 2 他大学の出身・学生
- 3 自大学、他大学の両方

⑦ どのようなシステムで実習生を受け入れていますか。

※複数回答可

- 1 大学（自大学）との学部内/学部間提携による受け入れ
- 2 大学（他大学）との学校間提携による受け入れ
- 3 大学や教員（自大学）から個別に要請を受けた
- 4 大学や教員（他大学）から個別に要請を受けた
- 5 実習生から個別に受け入れをお願いされた
- 7 病院側で実習生を募集した
- 8 その他 []

⑧ 病院内ではどなたがスーパーバイズにあたっていますか。

※複数選択可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 スーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

⑨ 実習で心理アセスメントを扱いますか。

- 1 はい → そのまま以降の質問にお答えください。
- 2 いいえ → 22 頁へお進みください。

実習で心理アセスメントを扱う病院に伺います。

a~h は心理アセスメントに用いられる代表的な検査です。これから、それぞれの検査について、どのような実習・指導が行われているのかをおたずねします。次ページから始まる a~h までの検査に関する質問について順番にお答えください。

また、それに続いて 20 ページからは検査の選択法やバッテリーに関する質問に回答ください。

代表的な検査に関する質問

- a. ウェクスラー式児童用知能検査 (WISC) …p. 4
- b. ウェクスラー式成人用知能検査 (WAIS) …p. 6
- c. ビネー式知能検査 …p. 8
- d. ロールシャッハ・テスト …p. 10
- e. ミネソタ多面人格目録 (MMPI) …p. 12
- f. クレペリン検査 …p. 14
- g. 神経心理検査 …p. 16
- h. その他の検査 …p. 18

検査の選択や組み合わせに関する質問

- i. 検査の選択法・検査バッテリー …p. 20

9a. ウェクスラー式児童用知能検査 (WISC)

9a-1. ウェクスラー式児童用知能検査を実習で扱いますか。

- 1 はい → 引き続き 9a-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9 b (6 頁)にお進みください。

9a-2. 実習生はウェクスラー式児童用知能検査をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9b(6 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習者は施行しない → 9b(6 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習者は施行しない → 9b(6 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9a-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9a-3 以降にお答えください。

9a-3～9a-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合は、6 ページの 9b(ウェクスラー式成人用知能検査に関する部分)から回答を再開してください。

9a-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9a-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9a-5. 病院ではウェクスラー式児童用知能検査の施行において、誰がスーパーバイズをおこなっていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9a-6. 病院ではウェクスラー式児童用知能検査の採点において、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9a-7. 病院ではウェクスラー式児童用知能検査の報告書作成において、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9a-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9b. ウェクスラー式成人用知能検査(WAIS)

9b-1. ウェクスラー式成人用知能検査を実習で扱いますか。

- 1 はい → 引き続き 9b-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9c(8 頁)にお進みください。

9b-2. 実習生はウェクスラー式成人用知能検査をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9c(8 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習者は施行しない → 9c(8 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習者は施行しない → 9c(8 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9b-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9b-3 以降にお答えください。

9b-3～9b-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、8 ページの 9c(ビネー式知能検査に関する部分)から回答を再開してください。

9b-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9b-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9b-5. 病院ではウェクスラー式成人用知能検査の施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9b-6. 病院ではウェクスラー式成人用知能検査の採点において、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9b-7. 病院ではウェクスラー成人用知能検査の報告書の作成において、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9b-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9c. ビネー式知能検査

9c-1. ビネー式知能検査を実習で扱いますか。

- 1 はい → 引き続き 9c-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9d(10 頁)にお進みください。

9c-2. 実習生はビネー式知能検査をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9d(10 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習者は施行しない → 9d(10 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習者は施行しない → 9d(10 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9c-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9c-3 以降にお答えください。

9c-3～9c-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、10 ページの 9d(ロールシャッハ・テストに関する部分)から回答を再開してください。

9c-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9c-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9c-5. 病院ではビネー式知能検査の施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9c-6. 病院ではビネー式知能検査の採点において、誰が指導をしていますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9c-7. 病院ではビネー式知能検査の報告書の作成において、誰が指導をしていますか。

※複数選択可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9c-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9d. ロールシャッハ・テスト

9d-1. ロールシャッハ・テストを実習で扱いますか。

- 1 はい → 引き続き 9d-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9e(12 頁)にお進みください。

9d-2. 実習生はロールシャッハ・テストをどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9e(12 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習者は施行しない → 9e(12 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習者は施行しない → 9e(12 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらうが → 9d-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらうが → 9d-3 以降にお答えください。

9d-3～9d-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、12 ページ 9e(ミネソタ多面人格目録に関する部分)から回答を再開してください。

9d-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9d-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9d-5. 病院ではロールシャッハ・テストの施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9d-6. 病院ではロールシャッハ・テストの採点において、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9d-7. 病院ではロールシャッハ・テストの報告書の作成において、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9d-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9e. ミネソタ多面人格目録 (MMPI)

9e-1. ミネソタ多面人格目録を実習で扱いますか。

- 1 はい → 引き続き 9e-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9f(14 頁)にお進みください。

9e-2. 実習生はミネソタ多面人格目録をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9f(14 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習者は施行しない → 9f(14 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習者は施行しない → 9f(14 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9e-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9e-3 以降にお答えください。

9e-3～9e-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、14 ページ 9f(クレペリン検査に関する部分)から回答を再開してください。

9e-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9e-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9e-5. 病院ではミネソタ多面人格目録の施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9e-6. 病院ではミネソタ多面人格目録の採点において、誰が指導をしますか。※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9e-7. 病院ではミネソタ多面人格目録の報告書の作成において、誰が指導をしますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9e-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9f. クレペリン検査

9f-1. クレペリン検査を実習で扱いますか。

- 1 はい → 引き続き 9f-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9g(16 頁)にお進みください。

9f-2. 実習生はクレペリン検査をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9g(16 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習者は施行しない → 9g(16 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習者は施行しない → 9g(16 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9f-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9f-3 以降にお答えください。

9f-3～9f-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、16 ページ 9g(神経心理検査に関する部分)から回答を再開してください。

9f-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9f-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9f-5. 病院ではクレペリン検査の施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9f-6. 病院ではクレペリン検査の採点において、誰が指導をしますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9f-7. 病院ではクレペリン検査の報告書の作成において、誰が指導をしますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9f-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9g. 神経心理検査

9g-1. 神経心理検査を実習で扱うことはありますか。あれば、具体的な検査名も記入してください。

- 1 はい [検査名:] → 引き続き 9g-2 以降にもお答えください。
- 2 いいえ → 9h(18 頁)にお進みください。

これから前項 9g-1 で記入した検査について回答してください。複数の検査を回答した場合は、その中での典型的なものについてお答えください。

9g-2. 実習生はその神経心理検査をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習生は施行しない → 9h(18 頁)にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらうが、実習生は施行しない → 9h(18 頁)にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらうが、実習生は施行しない → 9h(18 頁)にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9g-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9g-3 以降にお答えください。

9g-3~9g-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、18 ページ 9h(その他の検査に関する部分)から回答を再開してください。

9g-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ~5 回
- 4 ~10 回
- 5 11 回以上

9g-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ~5 回
- 4 ~10 回
- 5 11 回以上

9g-5. 病院ではその神経心理検査の施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9g-6. 病院ではその神経心理検査の採点において、誰が指導をしますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9g-7. 病院ではその神経心理検査の報告書の作成において、誰が指導をしますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9g-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9h. その他の検査

9h-1. これまでの a～g の検査以外に実習で扱っている検査はありますか。あれば、その検査を回答してください。

- 1 ある〔検査名: _____〕 → 引き続き 9h-2 以降にもお答えください。
- 2 ない → 9i (20 頁) にお進みください。

これから、前項 9h-1 で記入した検査について回答してください。複数の検査を回答した場合は、その中での典型的なものについてお答えください。

9h-2. 実習生はその検査をどのように学んでいますか。

- 1 検査の説明はするが、実習者は施行しない → 9i (20 頁) にお進みください。
- 2 検査のビデオを視聴してもらいが、実習者は施行しない → 9i (20 頁) にお進みください。
- 3 検査の実施場面に陪席してもらいが、実習者は施行しない → 9i (20 頁) にお進みください。
- 4 検査の一部を施行してもらう → 9h-3 以降にお答えください。
- 5 検査全体を施行してもらう → 9h-3 以降にお答えください。

9h-3～9h-8 は、当該の検査の施行に関する質問です。前の項目で“施行しない”と回答した場合には、20 ページ(9i:検査の選択法・検査バッテリー)から回答を再開してください。

9h-3. 健常者に対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9h-4. 患者/クライアントに対しては実習生 1 人あたり何回ほど施行しますか。

- 1 0 回
- 2 1 回
- 3 ～5 回
- 4 ～10 回
- 5 11 回以上

9h-5. 病院ではその検査の施行において、誰がスーパーバイズをおこないますか。※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9h-6. 病院ではその検査の採点において、誰が指導をしますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は採点を行わない
- 5 その他 []

9h-7. 病院ではその検査の報告書の作成において、誰が指導をしますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

9h-8. 病院では被検者に対する検査のフィードバックにおいて、誰が指導をしていますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生はフィードバックを行わない
- 5 その他 []

9i. 検査の選択法・検査バッテリー

9i-1. 実習では、患者/クライアントに合わせた検査の選択、検査のバッテリーについてどの程度扱いますか。

- | | | | |
|---|-----------------------|---|---------------------|
| 1 | 扱わない | → | 質問⑩(22頁)にお進みください。 |
| 2 | 選択法・バッテリーについて説明するのみ | → | 質問⑩(22頁)にお進みください。 |
| 3 | 実習生が検査を選択し、バッテリーを構成する | → | 引き続き 9i-2 にお進みください。 |

9i-2～9i-5 は、検査の選択と検査バッテリーの構成に関する質問です。前の項目で、それらを“扱わない”“説明するのみ”と回答した場合には、22 ページ(⑩；面接に関する質問)から回答を再開してください。

9i-2. 患者/クライアントに合わせた検査の選択・バッテリー案をつくる練習(実際の患者にはその検査を施行しない)を、実習期間中に何ケースほどおこないますか。

- 1 0 ケース
- 2 1 ケース
- 3 2, 3 ケース
- 4 ～5 ケース
- 5 6 ケース以上

9i-3. 患者/クライアントに合わせた検査の選択・バッテリー案をつくる実践(実際の患者にそのバッテリーで検査を施行する)を、実習期間中に何ケースほどおこないますか。

- 1 0 ケース
- 2 1 ケース
- 3 2, 3 ケース
- 4 ～5 ケース
- 5 6 ケース以上

9i-4. 病院では、検査の選択法・検査バッテリーの練習・実践において、誰がスーパーバイズをおこないますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

9i-5. それらの検査を組み合わせた総合的な所見について、報告書作成の指導は誰がおこないますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

心理アセスメントに関する質問はここまでです。

次頁からは、面接に関する質問です。

⑩ 実習で面接を扱いますか。

- 1 はい → そのまま以降の質問にお答えください。
2 いいえ → 質問⑩(25頁)にお進みください。

実習で面接を扱う病院に伺います。

これから、診断面接と治療面接について、それぞれどのような実習・指導が行われているのかをおたずねします。

下記の通り、次頁から質問しますので順番にご回答ください。

- | | |
|-------------------|--------|
| a. 診断面接 (インテーク面接) | …p. 23 |
| b. 治療面接 (カウンセリング) | …p. 24 |

10a. 診断面接（インテーク面接）

10a-1. 実習で診断面接を扱いますか。

- 1 はい → 10a-2 以降の質問にお答えください。
- 2 いいえ → 10b(24 頁；治療面接の質問)にお進みください。

10a-2. 実習生は、どのくらい診断面接の見学や陪席をしていますか。

- 1 診断面接の説明はするが、実施場面を見ることはない
- 2 実施場面に陪席はしないが、ビデオなどで間接的に見学する
- 3 1 ケース 実施場面に陪席する
- 4 ~5 ケース 実施場面に陪席する
- 5 ~10 ケース 実施場面に陪席する
- 6 11 ケース以上 実施場面に陪席する

10a-3. 実習生は診断面接をおこないますか。おこなうとすれば、実習期間中に担当するのは何ケースほどですか。

- 1 実習生は診断面接を実施しない → 10b(24 頁)へお進みください。
- 2 1 ケース → 続けて 10a-4 に回答ください。
- 3 ~5 ケース → 続けて 10a-4 に回答ください。
- 4 ~10 ケース → 続けて 10a-4 に回答ください。
- 5 11 ケース以上 → 続けて 10a-4 に回答ください。

10a-4~10a-5 は、診断面接の実施に関する質問です。前の項目で“実施しない”と回答した場合には、24 ページ(治療面接)から回答を再開してください。

10a-4. 病院では診断面接の実施において、スーパーバイズを誰がおこないますか。※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

10a-5. 病院では診断面接の報告書の作成において、誰が指導をしますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

10b. 治療面接 (カウンセリング)

10b-1. 実習で治療面接 (カウンセリング) を扱いますか。

- 1 はい → 10b-2 以降の質問にお答えください。
- 2 いいえ → 25 頁(質問⑩)にお進みください。

10b-2. 実習生は、どのくらい治療面接の見学や陪席をしていますか。

- 1 治療面接の説明はするが、実施場面を見ることはない
- 2 実施場面に陪席はしないが、ビデオなどで間接的に見学する
- 3 1 ケース 実施場面に陪席する
- 4 ~5 ケース 実施場面に陪席する
- 5 ~10 ケース 実施場面に陪席する
- 6 11 ケース以上 実施場面に陪席する

10b-3. 実習生は治療面接をおこないますか。おこなうとすれば、実習期間中に担当するのは何ケースほどですか。

- 1 実習生は治療面接を実施しない → 質問⑩(25 頁)へお進みください。
- 2 1 ケース → 続けて 10b-4 に回答ください。
- 3 ~5 ケース → 続けて 10b-4 に回答ください。
- 4 ~10 ケース → 続けて 10b-4 に回答ください。
- 5 11 ケース以上 → 続けて 10b-4 に回答ください。

10b-4~10b-5 は、治療面接の実施に関する質問です。前の項目で“実施しない”と回答した場合には、25 ページ(質問⑩)から回答を再開してください。

10b-4. 病院では治療面接の実施において、スーパーバイズを誰がおこないますか ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他 []

10b-5. 病院では治療面接の報告書の作成において、誰が指導をしますか。 ※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

面接に関する質問はここまでです。
次頁からは、グループアプローチについてです。

⑩ 実習でグループアプローチを扱いますか。

- | | | | |
|---|-----|---|------------------------|
| 1 | はい | → | 引き続き 11-1 へお進みください。 |
| 2 | いいえ | → | 質問⑩ (27 ページ) へお進みください。 |

グループアプローチを実習で扱う病院に伺います。

これから、グループアプローチについて、どのような実習・指導が行われているのかをおたずねします。

11-1. 実習生はグループアプローチをどのように学んでいますか。

※ここでいう“関与”は、リーダーやファシリテーター以外での参加も含みます。

- | | | | |
|---|-----------------------------|---|------------------|
| 1 | 技法の説明はするが、実習者は関与しない | → | 質問⑩ (27 ページ) へ。 |
| 2 | 実施場面のビデオを視聴してもらいが、実習者は関与しない | → | 質問⑩ (27 ページ) へ。 |
| 3 | 実施場面を見学してもらいが、実習者は関与しない | → | 質問⑩ (27 ページ) へ。 |
| 4 | 工程の一部に関与してもらう | → | 11-2 以降にお答えください。 |
| 5 | 工程全体に関与してもらう | → | 11-2 以降にお答えください。 |

11-2～11-7 は、グループアプローチの関与に関する質問です。前の項目で“関与しない”と回答した場合は、質問⑩ (27 ページ) へお進みください。

11-2. どのような技法のグループアプローチに参加しますか。

※複数回答可

- | | | |
|---|-----------------------|---|
| 1 | ソーシャルスキル・トレーニング (SST) | |
| 2 | 心理教育 | |
| 3 | グループ・サイコセラピー (集団精神療法) | |
| 4 | サイコドラマ (心理劇) | |
| 5 | エンカウンター・グループ | |
| 6 | その他 [|] |

11-3. どのようなグループを対象にしていますか。

※複数回答可

- 1 健常者（患者の家族や関係者を除く）
- 2 ひきこもり
- 3 発達障害
- 4 アルコール依存
- 5 うつ病
- 6 統合失調症
- 7 認知症
- 8 その他の精神疾患〔病名： 〕
- 9 精神疾患以外の患者〔病名： 〕
- 10 患者（精神疾患以外も含む）の家族・関係者〔病名： 〕
- 11 その他〔 〕

11-4. 健常者を対象にしたグループアプローチは、実習生1人あたり何回ほど関与しますか。

- 1 0回
- 2 1回
- 3 ～5回
- 4 ～10回
- 5 11回以上

11-5. 患者/クライアントを対象にしたグループアプローチは、実習生1人あたり何回ほど関与しますか。

- 1 0回
- 2 1回
- 3 ～5回
- 4 ～10回
- 5 11回以上

11-6. 病院ではグループアプローチの関与において、誰がスーパーバイズをおこないますか。

※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側ではスーパーバイズをしていない
- 4 その他〔 〕

11-7. 病院ではグループアプローチの報告書作成において、誰が指導をしますか。※複数回答可

- 1 医師
- 2 心理士
- 3 病院側では指導していない
- 4 実習生は報告書の作成を行わない
- 5 その他 []

- ⑫ ここまで心理アセスメント、面接、グループアプローチについて質問をしてきましたが、それ以外に病院で行っている実習で特記すべきもの（例：デイケア、ナイトケアなど）があれば教えてください。記入欄に、できるだけ具体的に記入してください（“どのような活動内容か”“実習生をどのように指導しているのか”など何でも結構です）。

【記入欄】

- ⑬ 最後に、臨床心理専門家の実習受け入れに関するご意見や、今後の実習のあり方に対する要望などございましたら自由にご記入ください。

【記入欄】

- ⑭ この調査結果についてフィードバックを希望されますか。希望される場合には、e-mail によるフィードバックを予定しておりますので、アドレスをご記入ください。

- 1 希望する [e-mail:]
- 2 希望しない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、回答にもれや誤りが無いことを、もう一度、確認してください。

回答頂いた内容は調査の目的以外に使用することはありません。ご不明な点や質問などございましたら、右記の連絡先までおたずねください。

■□■ 松井 三枝 ■□■

〒930-0194 富山市杉谷2630地

Tel.076-434-2281 (内線 2707)

e-mail:toyamamedpsychol.toyama@gmail.com